



旅と暮らしを
新しいカタチに。
Styling the new

2020年12月8日

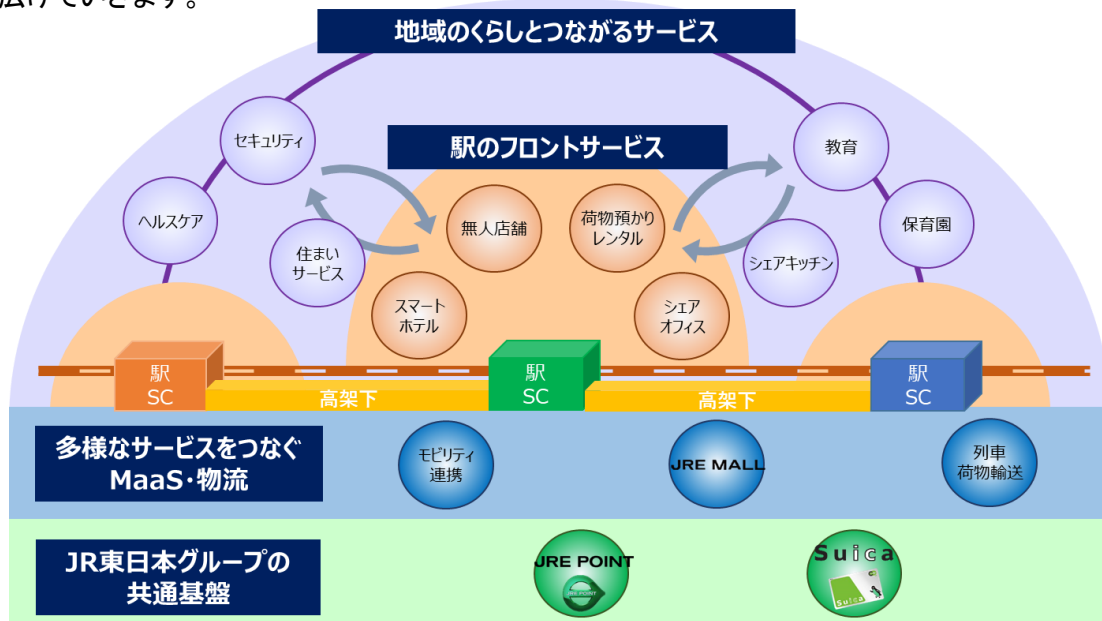
東日本旅客鉄道株式会社

沿線くらしづくり構想の推進について

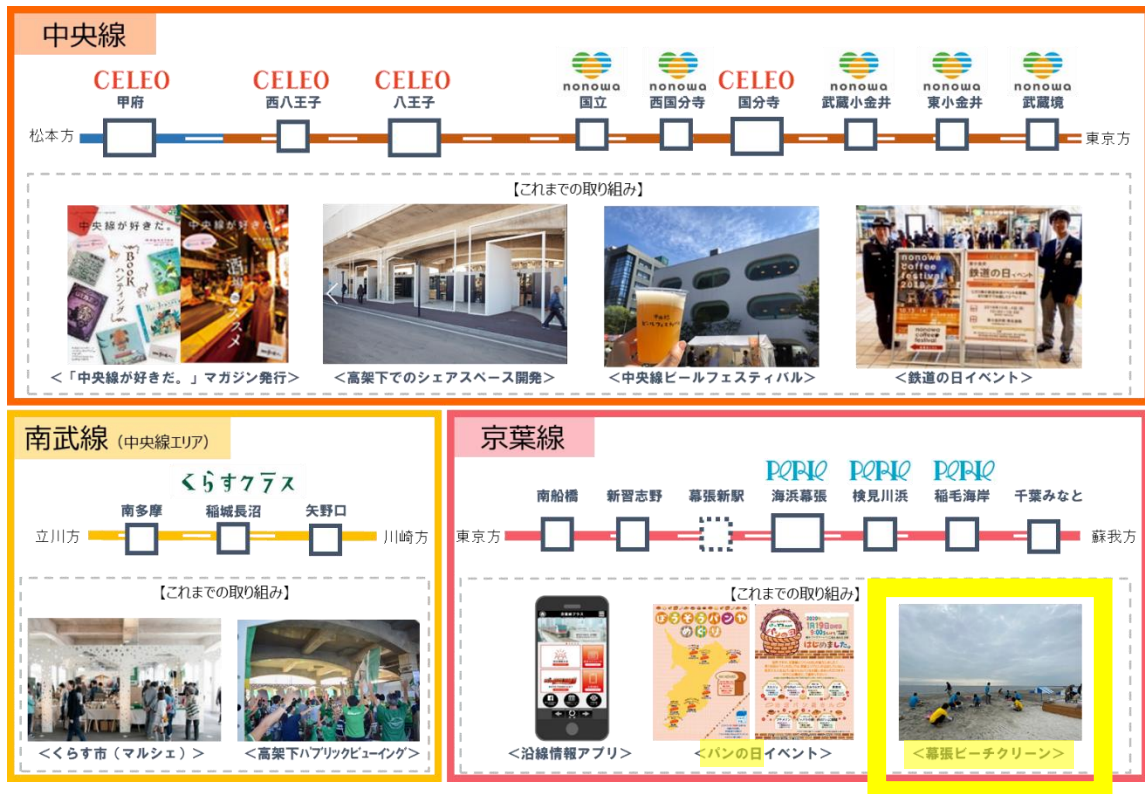
- JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」で掲げる「くらしづくり」の実現に向けて、“沿線の個性を引き出す”「沿線くらしづくり構想」を中央線エリアと京葉線エリアで推進します。
- 地域の皆さまのくらしとつながり、世代を超えてくらしやすい新たな生活空間を創造し、地域の皆さまとともに歩む沿線となることで、沿線人口の拡大と JRE POINT を基礎とした生活圏の拡大を目指します。
- 安心・便利な新しいくらし方の提案やその沿線ならではの新しい事業に挑戦し、オンライン問診を活用したスマート健康ステーション、在来線で運んだ地域産品の販売、駅の改札などご購入商品の受け取りサービスといった、くらしを豊かにするサービスをお届けします。また、新しい働き方の実践や、FCV といったモビリティ連携を検討するなど ESG 経営に取り組んでいきます。
- 沿線のショッピングセンター事業の運営から沿線くらしづくりへと変革すべく、中央線エリアでは株式会社 JR 中央ラインモールと JR 東京西駅ビル開発株式会社を合併し、株式会社 JR 中央線コミュニティデザインを設立します。京葉線エリアでは株式会社千葉ステーションビルが、同構想を推進します。

1 沿線くらしづくり構想の概念

沿線くらしづくり構想では、駅・駅ビル・高架下空間におけるサービスの相乗効果を図りながら、JR 東日本グループの共通基盤である Suica・JRE POINT を活用し、多様なサービスをつなぐ MaaS や物流、および駅のフロントサービスを展開することで、地域のくらしとつながるサービスを沿線に広げていきます。

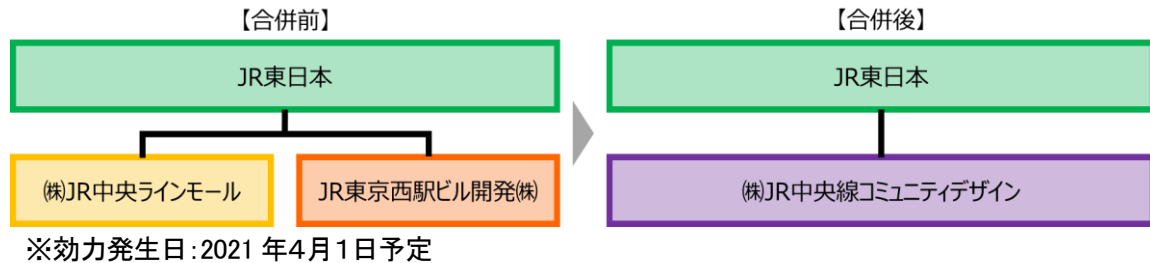


2 沿線くらしづくりの重点対象エリアと沿線でのこれまでの取り組み



3 会社合併の概要

(1) 事業再編イメージ



(2) 各社の概要

商号	(株)JR中央ラインモール	JR東京西駅ビル開発(株)
主な事業内容	・商業施設等の企画・開発・運営 ・プログラミング教室運営 ・駅業務受託	・駅ビルの共同開発、管理・運営等
主な運営施設	<nonowa> 武蔵境, 東小金井, 武蔵小金井, 西国分寺, 国立	<CELEO> 八王子, 西八王子, 国分寺, 甲府, 相模原 <Dila> 拜島
駅業務受託	武蔵境, 東小金井, 国立 ※2021年4月より受託開始予定 南多摩, 稲城長沼, 矢野口	—
所在地	東京都小金井市本町1丁目18-10	東京都八王子市旭町1-1
代表者	石井 圭	高橋 好一
設立年か	2010年設立	1980年設立 (八王子ターミナルビル) 2006年合併 (八王子・国分寺・甲府) 2007年現名称へ変更
資本金	12億円	10億円

【参考】「沿線くらしづくり構想」における具体的な施策

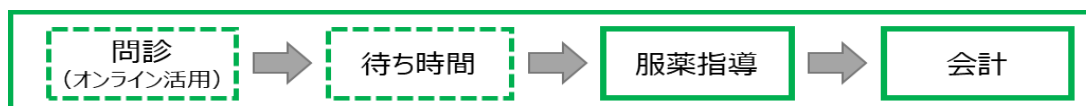
①安心・便利な新しいくらし方の提案

地域のくらしとつながる安心・便利なサービスの展開を進めます。また、Suica・JRE POINT といった JR 東日本のデジタル共通基盤を活用し、一日の生活シーンで最適な形のサービスを提供します。

・オンライン問診を活用したスマート健康ステーション(中央線エリア)

処方箋がなくても一部の医療用医薬品を購入できる薬局が、西国分寺駅にエキナカ初出店します。With・After コロナ時代にあわせて、事前に WEB でのオンライン問診や混雑の見える化を行うことで購入時間の短縮や来店時間の分散を実現します。健康や薬について気軽に相談できる窓口としての役割も担い、将来的には交通拠点である駅に、健康になるためのプラットフォームとしての機能を備えていきます。

<購入フロー>



<薬剤師による相談窓口>



<薬局内イメージ>

・海浜幕張エリアを中心としたさまざまな技術をつなぐ駅・まちづくり(京葉線エリア)

実証実験を行っている先端技術について、継続的に実用化する取り組みを行います。たとえば、ロボットなどの活用によりスムーズな食の提供ができる飲食店舗展開を目指します。また、シェアサイクルなどのモビリティ拠点整備により、街の回遊性向上につなげます。



<茹で麺ロボット>



<シェアサイクル>

このほか、Suica・JRE POINT を活用し、セキュリティサービス(見守りサービスなど)やお客さまにとって最適な商品受け取りサービス(駅でのロッカー受け取り、ご自宅への配送など)の展開、地域におけるさまざまなモビリティサービスとの連携などを行っています。

②沿線の個性を引き出す新しい事業への挑戦

地域の皆さまとともにコミュニティのつながりや地域ビジネスの創発をすすめ、沿線の個性を引き出す取り組みを進めます。

・グループの輸送ネットワークを活用したエリア間連携（中央線・京葉線エリア）

山梨エリアで収穫された果物・野菜類や房総エリアで獲れた魚介類などを、在来線特急も活用しつつ、八王子、海浜幕張などの駅に運び、今後販売します。あわせて JRE POINT 会員さま限定で、現地で収穫体験ができるオリジナル企画などの実施を進めます。



<列車荷物輸送>



<コンコースでの荷運び>



<鮮度が売りの生鮮商品>

・地域コミュニティをつなぐシェアリングや多様なビジネスの場を創出（中央線・京葉線エリア）

駅・高架下などでのシェアワーキングスペースやシェアキッチンといったシェアリングスペースの設置を通じて、地域コミュニティをつなぎ、地域ビジネスが生まれる場を作り出すとともに、生まれたビジネスを多様な形態で実現できる場を生み出します。



<シェアワーキングスペース>



<コミュニティ空間(くらすクラス)>



<地域産品・クラフト商品の発掘>

このほか、沿線の地域環境向上に向けて、地元の大学などと連携した体験型教育の場の提供などを推進していきます。

③新しい働き方の実践と ESG 経営の推進

沿線くらしづくり会社の運営する駅スタッフはコンシェルジュとして、駅のさまざまなフロントサービスに携わります。また、ESG 経営の実践として、各エリアで事業を通じた社会的課題解決に取り組み、地域社会の発展に貢献します。

・駅改札などでの展示商品の販売や、オンライン注文商品の受け渡し(中央線・京葉線エリア)

駅改札などで、鉄道のご案内だけでなく、駅で展示されている商品の販売・受け渡しといった新たなサービスを一部開始します。また、JRE MALL 内の「ネットでエキナカ」にてオンライン注文いただいた商品を、駅改札などで受け取れるようになるほか、周辺にお住まいの方へのお届けなど、お客さまにとって最適な形でお渡しをします。



< 駅改札での商品販売 >



< 販売商品の展示ボックス >



< 駅スタッフによる催事販売 >

このほか、レンタル・荷物預かりサービス、店舗・カフェ・スマートホテルのチェックインサービスなど、サービスを広げていきます。

・環境ベンチャーとの協業による環境改善への取組み(中央線・京葉線エリア)

2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、水素燃料を用いた FCV(燃料電池自動車)のモビリティ連携など、環境・エネルギー分野に関わるベンチャーキャピタルとの協業・実証実験を行い、持続可能な循環型地域社会に向けた課題解決に取り組みます。

※掲載画像は全てイメージです。

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会へお届けしています。

【報道機関お問合せ先】

東日本旅客鉄道株式会社 広報部 報道グループ TEL:03-5334-1300